



新小山市市民病院ニュースレター

Shin-  yama City Hospital News letter

Vol.20

1 副院長挨拶 ～ 認知症への対応について ～

人口の高齢化と共に認知症が近年非常に増加していることは、皆様も痛感しておられることでしょう。この認知症に対応すべく、当院では2014年10月から認知症の専門外来として『もの忘れ外来』を開設し、現在は毎週火曜・木曜の午前に予約診療を行っています。しかしながら、認知症は『もの忘れ外来』の受診者だけではなく、一般外来の受診者や入院患者にも多数見られます。当院での認知症への対応をこの場で簡単にご紹介致します。

認知症の方が入院された場合、環境変化や身体疾患のためにしばしば入院後せん妄を来してしまうことがあります。このような場合に適切な対応を行うため、多職種からなる認知症・せん妄に対応するチーム（Delirium Support Team：DST）を組織し、2017年4月から週1回定期的に院内を回診し、せん妄などに対して助言などを行っています。チームには神経内科医師、認知症認定看護師、リハビリ技士、栄養士、MSW、薬剤師等が参加し、様々な側面から認知症患者へのアプローチを試み、退院後の生活の安定につながるような対応も図るようしております。症状などによっては、入院前に内服されていた薬剤を変更することもあります。ご理解の程を御願い申し上げます。

『もの忘れ外来』を初診された場合の対応は、認知機能検査（改訂長谷川式知能検査/MMSE）やSDS（うつ病スケール）、血液検査や頭部CT等の画像検査をルーチン検査として殆ど全ての新患に施行するため、患者一人あたりの診察時間は計1時間以上かかっております。1日あたりの新患は3-4名程度とせざるを得ず、基本的に予約としているため予約日が一月近く先になることもあります。ご紹介戴く先生方や実際に受診される患者さんには大変ご迷惑をお掛けしておりますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。患者さんが来院・受診を拒否される場合もしばしばありますが、認知症認定看護師がまずご家族からのお話を伺うことも可能ですので、連携室などへご連絡いただければ調整致します。また、現在は安藤と川上の2人体制でもの忘れ外来を運営しておりますが、新年度4月以降は川上1人での体制となり、新患予約等により更にご迷惑をお掛けすることが予想されるため、何卒御高配の程を宜しく御願い申し上げます。

これからも皆様のご期待に答えられるよう努力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程を何卒よろしくお願い申し上げます。

平成30年 3月

新小山市市民病院 副院長・神経内科部長

川上 忠孝

2 TOPICS

第1回管理職研修会開催!!

1月27日(土)、当院初の管理職全員を対象とした研修会を実施致しました。“当院の強みとは？弱みとは？”というテーマを設定し、ワールドカフェ方式による自由闊達な討議を、医師、看護師、技師、事務職といった多職種がグループ毎に入り乱れ、未来の市民病院がどうあるべきかを自由に話し合いました。

今後も厳しい病院経営が見込まれる中、当院管理職全員が地域医療充実への更なる取組を誓い合った1日でした。



目次:

副院長挨拶	1
新任医師紹介	2
新規購入医療機器	3
連携室からのお知らせ	4

ハイライト

- 当院で初めての試みとなる管理職研修会を行いました。当院の強みと弱みについて、ワールドカフェ形式で話し合いました。

- 1月に着任した新任医師をご紹介します

- 医療連携室からは、いつもの統計以外に地域別患者数の集計と意識調査についてまとめました。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。

婦人科診療体制 変更のお知らせ

当院の婦人科外来は、月曜日～金曜日（予約制）に患者さんを受け入れて参りましたが、平成30年4月より、非常勤医1名体制となり、診療体制の縮小をせざるを得ない状況となりました。

つきましては、**毎週月曜日と第4水曜日**の診療となり、初診患者さん(紹介患者さん含む)につきましては、**予約制**に変更をいたします。

予約専用受付電話

☎ 36-0270

初診時選定療養費 の改正

医師会の先生方のご協力により、平成27年より地域医療支援病院としての認定を受け、国で推進の「かかりつけ医」との連携を推進してきました。今般の診療報酬改定でも、500床以上から400床以上の病院に拡大して選定療養費の義務化が検討されているように、当院でも、紹介状なしの初診患者の抑制を図り、「かかりつけ医」との連携を更に深めるため、4月より、現在2,160円の**初診時選定療養費**を改正し**3,240円**とします。



新任ドクターの紹介

1月採用の新しい医師を紹介します。



形成外科
部長
上野 紫穂

平成30年1月から、形成外科に赴任しました上野 紫穂（うへの しほ）です。

東京大学の形成外科に入局後、大学病院や市立病院、こども病院などいろいろな病院に勤務してきました。今回は自治医科大学からの派遣で赴任することになりました。

形成外科は体表の外科を担当する科ですので、皮膚皮下腫瘍、先天異常、眼瞼の疾患（眼瞼下垂・内反症等）、顔面骨骨折等の外傷などの治療を行っています。自治医科大学と連携して治療に当たらせていただきます。小児の先天異常を多く担当してきましたので、手足の多合指（趾）症、臍ヘルニア（でべそ）、副耳、耳前瘻孔、耳介変形、皮膚腫瘍、母斑、眼瞼下垂などの症例があれば、ご紹介ください。疾患のご説明、治療の要否、手術時期などを患者さんに合わせてご相談させていただきます。手術予定・入院期間は大学病院よりご希望に合わせやすいと思います。

その他もお困りの症例がありましたら、できる限り速やかに対応させていただきますので、お気軽にご相談ください。よろしくお願いします。

ポリファーマシー対策を始めました。

ポリファーマシーは明確な定義はないものの、複数（6剤以上）の薬を併用していることを指し、特に高齢者の多剤投与による有害事象が問題となっています。国は対策として、2剤以上の減薬には薬剤総合評価調整加算を新設しています。

当院では、入院することが服薬の確認、整理をする良い機会ととらえ、「ポリファーマシー対策チーム」（総合診療科医師、主治医、病棟薬剤師）が有害事象を減らすことを目的に活動しています。特に6剤以上の内服、アドヒアランス不良、高齢者の安全な薬物療法ガイドライン薬を服用している患者さんには同意を頂き、減薬をかかりつけ医に提案しています。現在のところ、月に4～5件の減薬を実施している状況です。

今後、ポリファーマシー対策の活動が入院患者さんばかりではなく、外来でも実施していければと考えています。ご理解ご協力をお願い致します。

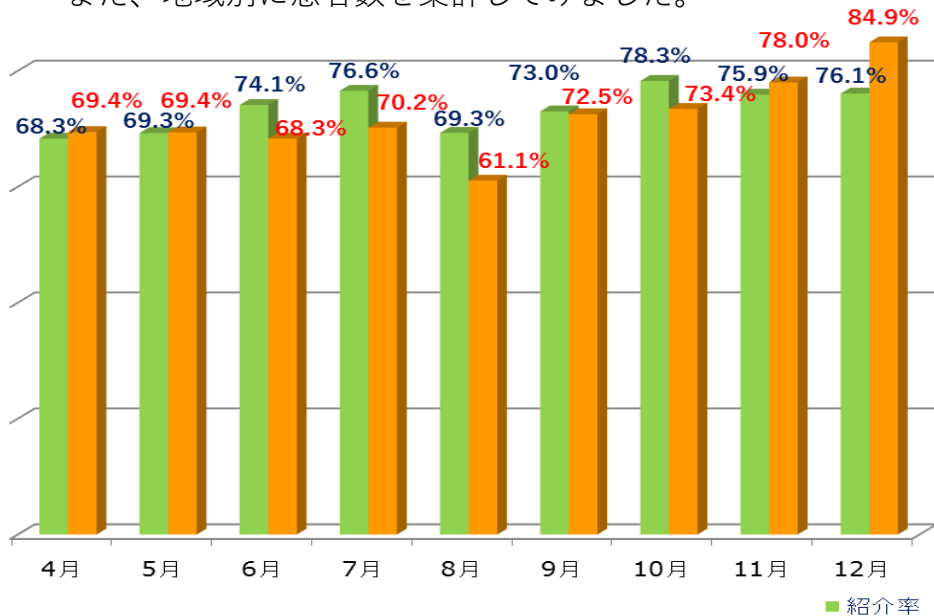


医療連携室からのお知らせ

いつも当院運営にご協力頂きありがとうございます。

今年度の紹介・逆紹介率データを集計しグラフ化しました。

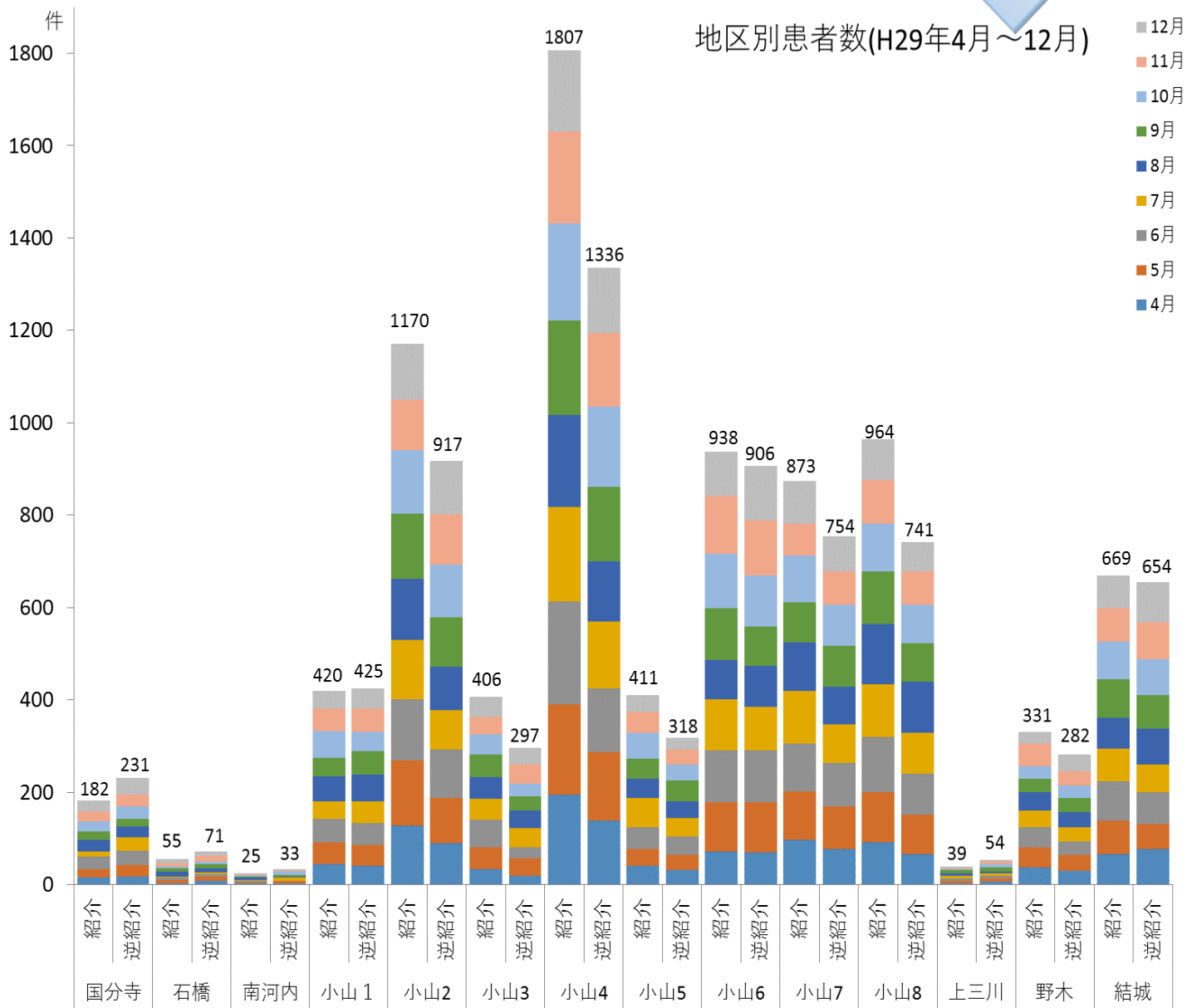
また、地域別に患者数を集計してみました。



地区内の医療機関数

(小山地区医師会・病院・診療所機能一覧を参考)

・国分寺（旧国分寺町の全域）	17件
・石橋（旧石橋町の全域）	15件
・南河内（旧南河内町の全域）	13件
・小山1（羽川・喜沢・南半田・扶桑）	11件
・小山2（駅東通り・出井・城北・中久喜・北飯田）	17件
・小山3（花垣町・若木町・城山町・本郷町）	12件
・小山4（駅南町・宮本町・犬塚・城東・中央町・土塔）	22件
・小山5（下河原田・下石塚・松沼・大行寺・大字卒島）	5件
・小山6（栗宮・神鳥谷・西城南・天神町・東城南・八幡町）	19件
・小山7（乙女・間々田・東間々田・美しが丘・網戸）	13件
・小山8（雨ヶ谷・雨ヶ谷新田・塚崎・南飯田）	9件
・上三川（上三川町の全域）	13件
・野木（野木町の全域）	11件
・結城（結城市の全域）	24件



患者支援センター

(受付時間 平日 8:30～17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来
患者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

紹介患者に対する意見調査で検討した内容 Part3

このたびの意見調査から、当院で検討できたものを報告させていただきます。

- ① 在宅医療を希望される患者さんに関しては、紹介元の先生に確認し、検討させていただきます。
- ② 外来で紹介する際は、連携医療機関情報(連携カードのパンフレット)を活用します。

下記の通り、ご意見をいただきましたので、検討いたしました。



- ① 『在宅医療を希望される患者さんは、まず、紹介元に打診してほしい。』

➡ 在宅医療を希望される患者さんに関しては、紹介元の先生に確認し、検討させていただきます。対応不可の場合は、可能な先生を患者支援センターで見つけます。

- ② 『患者さんより「新小山市民病院から当院へ行くようにいわれた。」と時間外に来られるときあり。名指ししないでほしい。』

➡ 外来で紹介する際に、連携医療機関情報(連携カードのパンフレット)を活用し、時間外に受診しないよう患者さんに説明いたします。

地方独立行政法人 新小山市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

<https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>



～下肢静脈瘤治療装置を導入しました！～

この度、新たに「日本コヴィディエン製 血管内焼灼用高周波治療機器 ClosureFsatカテーテル/ClosureRFGジェネレータ」を導入しました。

この装置は、高周波エネルギーを使用した一次性下肢静脈瘤の血管内治療用デバイスです。

高周波治療が適応となる場合、従来のストリッピング手術と対比し内出血や疼痛が少なくなり、局所麻酔下での日帰り手術が可能となります。

該当する患者さんがいらっしゃいましたら、是非、ご紹介いただきますようお願いいたします。

